



岩江中だより

第 45 号
 発行日：平成 28 年 3 月 4 日
 発行：三春町立岩江中学校
 電話：0247-62-8290
 FAX：0247-62-8380
 E-mail: school@iwae-jfks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【児童対象新入生説明会を開催！～寒い中ありがとうございました。歓迎いたします。～】

2月22日（月）は、インフルエンザの影響で延期になっていた岩江中学校新入生説明会が児童のみなさん対象に開催されました。今年度の1年生が30名だったので、40名をこえる児童のみなさんを見ると、「多いな。」という気持ちになりました。中には、毎朝、横断歩道であいさつする登校班の班長さんも混じっていました。

学校からのさまざまな説明の他、生徒会役員による学校紹介やQ and A形式のやりとりなどがありました。その後は3班に分かれて授業参観し、先輩の学びの姿を目の当たりにしました。そして、最後は、生徒会役員の案内で部活動見学。2時間を超える説明会でしたが、児童のみなさんはきちんと説明に耳を傾けたり授業や部活動を見学したりしていました。在校生、教職員一同、みなさんのご入学を心より歓迎し、お待ちしております。仲良くやろうね。



【卒業式の予行が行われました。～先輩は後輩を、後輩は先輩を思いやります。～】

3月3日（木）は卒業式の予行が行われました。3年間の歩みを胸に、素晴らしい卒業式にしようという卒業生の気持ちと、お世話になった先輩を心から送り出してあげたいという後輩の気持ちがある場にはありました。卒業式に対する卒業生と在校生の意識の少しのずれを見て取った1・2年生の先生方により、放課後の2年生オープンスペースでの練習につながりました。

平成27年度の岩江中学校卒業証書授与式は、5年前と同じ、3月11日です。卒業生にとって、3年間のまとめの活動として、心に残る卒業式となるよう、114名が一つになって、残り1週間をこれまでよりもさらに中身の濃い中学校生活にしてくれればと心より願います。卒業までの1週間を大切に。



【この傘だったかなあ？～傘に込められたあなたの優しさを心よりうれしく思います。～】



横断歩道で朝のあいさつをしていると、しばらくして雪が降り出してきました。冷たい風としめった雪、春の到来が待ち遠しい気持ちで黄色い「横断中」の旗を振っていました。

そこへ二人連れの女の子がやってきて、そのうちの一人の女の子が、私にむかって、（これ、使いますか？）というようにひょいっと水色の傘を差し出してくれました。以前、この学校だよりでも生徒会総会の挨拶文でもご紹介した女の子ですが、そのことがかえって、「使いますか？」とは言葉では言いづらくなってしまったのだと思います。ごめんね。でも、女の子の気持ちはとてもよく伝わってきました。一生懸命にひょいっと

傘を差し出してくれたことをとてもうれしく思います。傘を差し出してくれたこともそうですが、そういう優しい心をもっている人がこの岩江中学校の生徒であるということは何よりうれしく思いました。突然のことで、傘を差し出してくれた瞬間は写真に撮れなかったので、せめてもと思い、横断歩道から校舎に帰るときに、生徒昇降口の傘置き場を探しましたが、水色の傘がいっぱいあって、どれがその傘なのかははっきりしませんでしたので、その中の一本を証拠写真のように撮影させていただきました。

岩江にはこんな優しい気持ちをもった生徒さんがたくさんいます。岩江中にお世話になってよかったなとつくづく思った出来事でした。ありがとう。

【どうです、このすばらしさ！～人への心遣いが習慣化してきたのでは。～】

機会あるたびに、『トイレのスリッパ』のことは、学校便りなどに掲載させていただいていますが、下の写真は、3日間の1階男子トイレのスリッパの様子を撮影させていただいた写真です。どうですか？すばらしいでしょう。子どもたちも、先生方も意識して、ふと気づいた機会には、スリッパをきちんとそろえて生活してくれています。

人が見ていようが見ていまいが、褒められようが褒められまいが、次に使う人のためにスリッパを並べ直せる人がたくさんいる学校。岩江中学校は着実にそんな学校に近づいてきています。岩江地区の子どもたちもすばらしい力をもった子どもたちです。



【自主的、自治的活動をめざして！～第2回生徒会総会で『自治』を学びました。～】

